

令和9年度採用（令和8年度実施）さいたま市立学校教員採用選考試験

第2次試験 面接試験・実技試験

中学校・高等学校・中等教育学校教員 美術 実施要領

1 日時

- (1) 面接試験：令和8年8月8日（土）10時30分 ～ 16時50分
- (2) 実技試験：令和8年8月9日（日）9時00分 ～ 12時00分

2 会場 さいたま市立大谷場中学校・さいたま市立大谷場東小学校

3 内容

- (1) 個人面接、教科等の専門性に係る質問
- (2) 実技

4 日程

- (1) 面接試験
 - 諸注意・概要説明 10時20分 ～ 10時30分
 - 個人面接、教科等の専門性に係る質問 10時30分 ～ 16時50分
- (2) 実技試験
 - 諸注意・概要説明 8時25分 ～ 9時00分
 - 実技 9時00分 ～ 12時00分

5 個人面接、教科等の専門性に係る質問の内容

- (1) 教科の知識に関すること
- (2) 教科の実践力に関すること
- (3) 指導と評価に関すること

6 実技の内容

課題に基づき、立体作品の制作及び水性の画材による平面作品の制作をする。

7 実施方法

(1) 面接試験

時 間	試 験 内 容	場 所
10 分	諸注意・概要説明	控室
25 分	個人面接、教科等の専門性に係る質問	試験室

(2) 実技試験

時 間	試 験 内 容	場 所
35 分	諸注意・概要説明	控室
180 分	実技	試験室

令和 9 年度採用（令和 8 年度実施）さいたま市立学校教員採用選考試験
第 2 次試験 中学校・高等学校・中等教育学校教員 美術
個人面接、教科等の専門性に係る質問例

1 教職全般に係る質問

(1) 人間性・社会性に関すること

- ア 教職を志望した理由を教えてください。
- イ 教職に就くことを目指して、どのような努力をしてきましたか。
- ウ 教員に求められている力（能力）とは、どのようなものだとあなたは考えますか。

(2) 教員としての資質・能力に関すること

- ア 通常学級において、特別な配慮が必要な児童生徒が在籍しています。そのような児童生徒に対してどのように支援していきますか。
- イ 児童生徒や保護者と信頼関係を築くために、大切なことは何だとあなたは考えますか。
- ウ 「いじめ」を未然に防ぐために、あなたは日頃からどのような指導を行いますか。

2 教科等の専門性に係る質問

(1) 教科の知識に関すること

- ア 「明朝体」という書体について、具体的に説明してください。
- イ 「順光」（じゅんこう）と「逆光」（ぎゃっこう）の違いを説明してください。

(2) 教科の実践力に関すること

- ア 美術科における言語活動の充実を図るために、どのような手立てが有効だと考えますか。
- イ 個に応じた指導を充実させるためには、どのような手立てが有効だと考えますか。

(3) 指導と評価に関すること

- ア 生徒が自分なりの「主題（表したいこと）」を生み出せるよう、どのような導入や支援を行うとよいですか。
- イ 評価の妥当性を保つための方法として、具体的にどのようなものが考えられますか。

令和9年度採用（令和8年度実施）さいたま市立学校教員採用選考試験
第2次試験 実技試験
中学校・高等学校・中等教育学校教員 美術

【課 題】

作品の制作

「水」を、立体作品として自由に表現しなさい。

また、「水」に、各自が考えるモチーフを1種類以上加え、平面作品として自由に表現しなさい。

なお、以下の条件を守ること。

条件

＜立体作品＞

- 1 アイデアスケッチは配布された草案用紙を使用すること。
- 2 配布された粘土を2/3以上使用して制作し、着彩はしないこと。
- 3 配布された針金を使用してもよい。
- 4 へらは配布されたもののみ使用すること。
- 5 立体作品は、指定の板の上に置き、板も含めて作品とすること。
- 6 配布された立体作品票を制作時間内に記入し、記入部分が見やすいように、作品「前面」の板に添付すること。

＜平面作品＞

- 1 配布されたイラストボードを使用して制作し、着彩をすること。
- 2 立体に使用するための粘土は使用しないこと。
- 3 配布された平面作品票を制作時間内に記入し、記入部分が見やすいように、イラストボードに添付すること。

- ・平面と立体の制作の順番は自由とする。
- ・制作時間は作品票の記入を含めて180分とする。
- ・制作時間終了後に作品の保管と片付けを行う。